

命をまもる歩車分離信号を！

——東浅川交差点の信号システム改善をめざして——

「東浅川交差点に歩車分離信号を」5年間の記録＝2015年12月3日～2019年8月30日＝

高尾・浅川地域のまちづくりを考える会は、この5年間、東浅川交差点の信号システムの改善を求めて、関係機関との懇談、市長・高尾警察署長・都知事・警視総監への要望書提出、市議会・都議会の質疑などを通じて、住民の声を行政に届けつけてきました。しかし、いまだ実現していません。

「会」は、積み重ねた5年間の活動を土台に、人命を守る歩車分離信号の優位性、緊急性について、地域ぐるみで話し合い、その声を広げ、ねばり強く行政に届けるために都知事あての署名運動を、9月初旬からとりくみます。第一次知事提出は9月27日、最終は、来年の東京都予算編成が決まるまで継続します。

この記録は、みんなで5年間をふりかえって、進んだこと、足りなかったことを明らかにして、東浅川交差点の信号にとどまらず、歩車分離信号がすべての信号交差点のスタンダード信号になることをめざして整理しました。

高尾・浅川地域のまちづくりを考える会

2015.12.03：八王子市議会 平成27年第4回定例会（第4日目）市川議員質疑

市川議員はこれをはじめとして、一般質問で6回の質疑を展開しています

市川克宏議員

警察庁が2002年1月から半年間、全国で100ヵ所の交差点を抽出して、歩車分離信号の試験運用を実施しました。その結果、交通人身事故が約4割減少し、そのうち人対車両の事故は7割も減少するなど、安全面で大きな効果が認められ、また、交通渋滞は2%減少しました。東浅川交差点は、これまで以上に歩行者と車両が行き交うことは明らかです。この間、東浅川小学校、陵南中学校の校長先生や地元町会、さらに狭間町、館ヶ丘団地にお住まいの皆さんなどから、歩車分離信号が必要ではないかという要望をたくさんいただいております。行政としての対応を。

駒沢広行都市計画部長

一般的には、歩車分離式にすることで左折時の歩行者通行による車両の滞留は解消する一方で、信号のワンサイクル当たりの車両の通行時間が短くなることから、さらに渋滞となり、滞留する車両が多くなるといったデメリットもございます。

東浅川交差点につきましては、地元からの要望もいただいておりますので、今後、交通管理者に伝え、交通管理者が現地の交通情勢などを分析した上で判断するものと考えているところでございます

■ 2017年2月1日 東京都知事宛に「大規模小売店舗立地法」にもとづく意見書提出（イーアス高尾新設にあたって）＝佐藤秀明他597名 以下、意見書から該当部分を抜粋

平成28年11月7日付東京都公報第16243号で公告された大規模小売店舗の新設について、大規模小売店舗立地法第8条第2項の規定により、下記の通り意見を述べます。(略)

東浅川町にほぼ隣接して二つの大規模店舗の計画が知らされた時から住民は、町田街道の「東浅川交差点を歩車分離方式に切り替える」ことを要求してきた。実現のためには関係機関の協議が必要であるが、設置者からも関係諸機関に実現に向けて働きかけを行っていただきたい。

■ 2017年5月8日 東京都小池知事に要望書提出 ※ 回答はなし

1. 町田街道(都道47号線)と万葉けやき通り(八王子幹線1級9号線)が交差する「東浅川交差点」の交通システムに人命優先、人と車を交錯させない安全性の高い歩車分離式信号を一刻も早く導入すること。

2. 町田街道(都道47号線)の「東浅川小学校前交差点」は交差点システムの改善では解決できない周辺の土地状況になっている。ついては、交差点システムの改善と同時に、交差点を跨ぐ横断歩道橋を設置すること。その際には、ユニバーサルデザインを取り入れること。

■ 2017年7月15日現在の東京都方針 (清水都議に警視庁から情報)

【東京都歩車分離信号機の設置基準、設置方針】

歩車分離信号機は、原則として、歩車分離化により抑制できたと考えられる人身事故が多数発生した場所、または、人身事故の危険性が高いと見込まれる場所に設置することとしている。

設置に当たっては、交通の円滑化を確保するため、交差点の構造や、交通の量等も考慮し、必要な対策を講じることにしている。

【都内における歩車分離式信号整備箇所数】 1,512箇所 (平成30年3月31日現在)

【平成30年度歩車分離式信号機整備予算】 約95,200(千円)

【平成30年度予算における今後の歩車分離式信号機】 約30箇所

■ 2017年9月28日 平成29年都議会文教委員会

共産党米倉委員

(特別支援学校の)交通上の安全については、生徒の安全対策も重要です。新校舎の最寄り駅となるのは、JR高尾駅、また、京王線の高尾駅、狭間駅になりますが、学校までは十分ほど歩く距離にあります。特に学校周辺の道は交通量が多くなっています。事故の危険性などは想定しているのでしょうか。

浅野特別支援教育推進担当部長

八王子地区第二特別支援学校(仮称)の通学路は、現時点では定まっておりませんが、これまでも通学路の決定に際しては、通学する生徒の障害特性や、近隣の交通状況などを踏まえながら、安全確保に配慮しております。地元自治体を含めた関係機関との調整を密に行っており、引き続き現地の状況の把握を進め、通学路の安全確保について必要な措置を検討いたします

米倉委員

地域の住民の皆さんが危惧されるのは、高尾駅から学校に向かう途中にある東浅川交差点です。この交差点は、地域の交通の要所となっておりまして交通量が多く、長年、地元住民からは、歩車分離にしてほしいと要望がある交差点です。危険性などについて住民関係者の声は聞いていますか。

浅野特別支援教育推進担当部長

新しい学校の設置に際しては、地元の理解が重要であり、地元の住民や自治体を初めとした関係機関からさまざまな意見を聴取しております。本校においてもさまざまな意見を受けておりますが、東浅川交差点の危険性について、現時点では地域住民や関係者から特段の意見は聞いておりません。今後とも、通学路を定める中で、関係者等の声を伺いながら必要に応じて対応を検討してまいります

■ 2017年9月29日 平成29年警察・消防委員会

共産党清水委員

歩車分離式信号機の整備・設置する上での基本方針についてお伺いいたします。

山本交通部長

歩車分離式信号機は、原則として、歩車分離化により抑止できたと考えられる人身事故が過去二年間に二件以上発生した場所や、人身事故の危険性が高いと見込まれる場所に設置することとしています。設置に当たっては、交通の円滑化を確保するため、交差点の構造や交通量なども考慮し、必要な対策を講じることとしております。

清水委員

高尾駅周辺に、最近は大規模商業施設が相次いで進出をしています。また、マンションや戸建て住宅の建設がされています。さらに、圏央道の開通に伴って、地域環境や交通事情が激変をしているということになっています。

また、特に1840台余りを有する駐車場を持っている大きな商業施設も、六月二十二日に開設されたわけです。本当に住民の方は懸念が大きくなっております。

また、八王子市市台町にありました都立特別支援学校の改築移転が三年後に予定をされて、今回議案にもなっているということです。

この二つの道路とその周辺道路は、子供たちの通学路であり、地域住民の生活道路でもあって、本当に切実になっているわけです。これまでも、八王子の市議会などでも取り上げていますし、それから私たちも、東京都にも要望をしておりますが、やはり町田街道と万葉けやき通りが交差する東浅川交差点の交通システムに、人命優先、人と車を交錯させない、安全性の高い歩車分離式の信号機を一刻も早く導入していただきたいということを要望し、質問を終わります。

■ 2017年11月22日 浅川地区町会自治会連合会が、東浅川交差点の安全対策について市に要望書提出

「交通の安全かつ円滑になることを目的として、歩車分離式の信号機の設置を要望します」

■ 2018年6月7日 「市長と語る」 八王子駅南口総合事務所（文書発言）

文書意見（芥藤千恵子）	メール回答（石森孝志市長）
「東浅川交差点」に人命優先、人と車を交錯させない安全性の高い歩車分離式信号を一刻も早く導入してください。	信号機の設置・変更については、交通管理者である警視庁の管轄となります。歩車分離式信号の設置については、今後の交通状況を精査したうえで、総合的に判断されるものと考えていますが、市としても交通管理者に継続して働きかけていきます 【お問い合わせ先】 道路交通部 路政課 小谷田 電話 042-620-7273

■ 2018年6月27日 八王子市長に要望書提出

応対 都市計画部交通企画課長 山崎康弘 同主査 関口和秀

■ 2018年7月15日（日）午後1時30分～4時 イーアス高尾コミュニティホール
学習会「命を守る歩者分離信号ー安全な地域と通学路をめざして」

おはなし 「交通事故の現状と歩車分離信号の必要性」

長谷 智喜さん（命と安全を守る歩車分離信号普及全国連絡会・会長）

■ 2018年8月1日 八王子市長から文書回答

連絡先 道路交通部路政課 小谷田 042-620-7273 交通事業課 高崎、川本 042-620-7410

要望項目	文書回答
1. 早急な導入の条件を整えるための独自施策の展開を要望します。	これまでも交通管理者には働きかけを行っており、今後の導入については交通管理者の判断によるかと考えています。
2. 「広報」「公式ホームページ」など、「ソーシャルメディア」を活用して、市民の理解と協力を。	信号機の設置については交通管理者が管轄しており、市が主体的に設置できる施設ではないことから、市として公報する予定はありません。
3. 早期実現のロードマップを市民に示してください。	ロードマップは、歩車分離信号の導入は交通管理者の管轄であり、今後の導入については交通管理者の判断によるかと考えております。
4. 東京都、警視庁、東京都公安委員会に市民の声を届けてください。	これまでも交通管理者へ市民のお声を伝えており、管轄である交通管理者も既に認識しているところです。

■ 2018年7月17日 14:00 高尾警察署に要望書提出

応対 高尾警察署＝大河原（担当者）

■ 2018年7月27日（金） 14:10～15:00（？）高尾警察署回答

（口頭だが、高尾警察署の回答として受けて良いことを確認）

高尾警察署＝交通規制係 係長警部補 吉永 敏夫、主任巡查部長 大河原 剛

要望項目	口頭回答
1日も早く東浅川交差点を歩車分離信号に改善してください。	「東浅川交差点の歩車分離信号システム化」を毎年警視庁交通規制課（都の交通システムを担当）に上申しているが、良い回答はない。
八王子市内で平成に入ってから、青信号巻き込み死亡事故の日付、交差点名、被害者の年齢・男女、巻き込んだ車の種類をお知らせください。	<p>事故関係の数字は出さない。個人情報もあり出すことは差し控える。</p> <p>公共交通（京王バス）やタクシー会社からも歩車分離の要望が出ている。高尾地域上げて取り組んだら良いかも。</p> <p>交通量の調査結果の数字は出せない。交通量は、時間帯、曜日、季節、などなど、調べることは難しい。</p> <p>養護学校対応として、音響システム導入も考えられる。</p>
これまでの警視庁の対応についてお知らせください。	高尾警察署として、今後も続けて東浅川交差点の歩者分離信号設置を上申して行きます。

■ 2018年8月31日 16時 高鉄交通株式会社（東浅川町）受付職員の男性と会話

口頭で要望	口頭で回答
私たちは歩行者の立場ですが、車を運転するかたは、東浅川交差点の歩車分離化をどう思われますか？	<p>こういう話は上の組織で話し合うことです。（「上の組織」←詳しくはわからなかった）が、個人的には私もスクランブル交差点にした方が良いと思います。以前、（？社長が）警察に言ったことがあります。警察は動きませんでした。</p> <p>住民が動かなければ、ダメなのでしょうかね。</p> <p>この話があったことは社長（押田さん）に伝えておきます。</p>

■ 2018年11月6日（火）13:30～14:15 警視総監宛に歩車分離信号の要望書提出

警視庁対応＝都議会共産党担当警部（足立氏） 清水都議同席

文書で要望	警視庁都議会共産党担当警部（足立氏）から口頭
1. 町田街道（都道47号線）と万葉けやき通り（八王子幹線1級9号線）が交差する「東浅川交差点」に人命優先、人と車を交錯させない安全性の高い歩車	<p>① 去年の5月8日付で吉澤さんからの要望書を、清水先生経由で受けています。その時点（5月中）で、交通担当者とした。</p> <p>② 去年の回答としては「渋滞が大きい。歩車分離にすると渋滞を待ちきれない車が、脇道に入って、裏口から出てくる。そこで危険性を増すということで結論が出たので、見送りとした</p> <p>③ 高尾署からも上申あった。支援学校問題も去年の要望書にあった。実際に開校して、スクールバスの運営を見た上で交通政策をやっていく。タラネバでみなさんの税金を使ってしまうのはどうなのか。物が</p>

分離式信号の一刻も早い導入を。

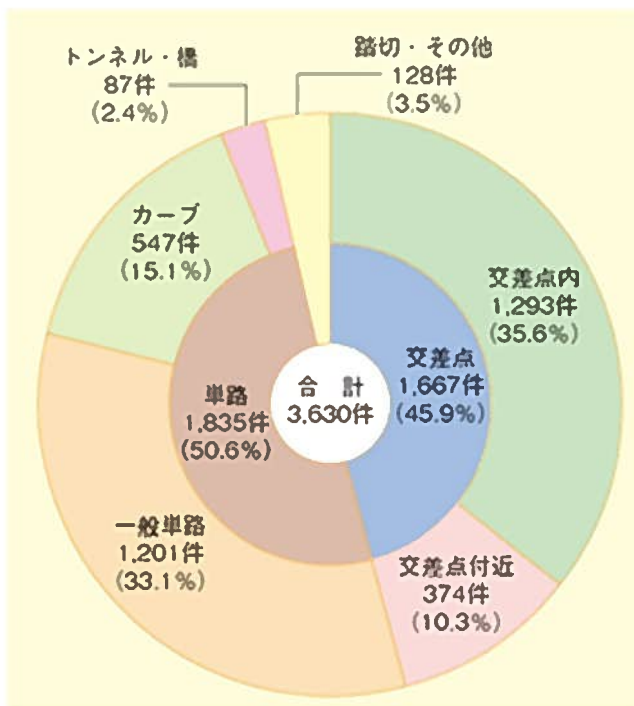
2. そのために、東浅川交差点の交通調査、とくに、右左折車、大型車の調査を早急に行っていたかどうかよう要望する。

3. 東浅川交差点の現在の交通安全政策についてお示しいただくよう要望いたします。

できて、実際の交通の流れを見た上で、交通管理者として判断する。支援学校を予想してつけるということは～ということで、去年の要望は見送りになった。

- ④ 私としては、今日を受けて新たに交通管理者に出すので、去年と同じ内容だと正直、どうあげようかと。ここが変わったというところがあれば、そこを付け加えて要望としてあげたい。もし、プラスアルファがあれば参考として伺いたい。
- ⑤ 渋滞、交通安全対策と道路環境の整備は警察としては両方を考えねばならないことご了解を。一番良いのは、道路拡幅だと思うが、JRの高架がネックになっている。警察だけで完了できない。
- ⑥ 文書回答は可能な限りする。判断は私にはできない。場合によっては口頭回答に。データの開示は、私の段階では、何とも言えない。
- ⑦ 予算に位置づけられていないとだめです。そろそろ、議員への予算説明が始まる。予算は動くので、予算に入っても伝えることはできない。入っていても、緊急事態が生じればランクは下がる。
- ⑧ 要望については、私から、予算化専門部署に託する。去年今年と意見いただいたので、自分としては予算に組み込まれれば良いなと思う

道路形状別 交通死亡事故発生件数（平成 29 年）



JAF

一般社団法人日本自動車連盟 (JAF) ホームページより

歩車分離式信号の導入は進んでいますか？

交差点での事故を減らせる、右左折車両がスムーズに通行できるなど、歩車分離式信号にはいろいろなメリットがあります。2002年に警察庁が全国100カ所の交差点を抽出して歩車分離式信号を調査した結果、人身事故が約4割減少し、このうち人対車両の事故は約7割減少しました。

各都道府県で歩車分離式信号の導入を進めていますが、警察庁の調査では、2016年3月末の時点で、信号機全体の約4.2%（約8,700基）の設置にとどまっています。しかし、信号交差点における交通事故の防止には、有効とされています。